

BIO2005 ビジネス・ネットワーキング・プログラムのご案内

ペンシルベニア州フィラデルフィアにて
平成 17 年 6 月 17 日(金)～24 日(金)

**JAPAN TECHNOLOGY GROUP, INC.
OMORI & YAGUCHI**

目次

I.	プログラム概要	3
II.	対象となる方々	3
III.	プログラムのメリット.....	3
IV.	主催・共催団体一覧	4
V.	プログラム日程表・各種プログラムの概要.....	5 - 11
VI.	参加費用	11
VII.	参加申込・お問い合わせ先.....	11
VIII.	参加申込書	別添 *1

*1 参加申込書は弊社ホームページからダウンロードできます。下記をクリックしてください。

http://www.japantechnologygroup.com/BIO2005_Business_Networking_Program_18MAY05.htm

BIO2005 ビジネス・ネットワーキング・プログラムのご案内

I. プログラム概要

周知の通り、バイオ業界における世界最大イベント「BIO2005」が、今年は6月19日(日)から22日(水)の4日間、米東海岸ペンシルベニア州フィラデルフィア市で開催されます。昨年のサンフランシスコ総会には、1万7千人以上の業界エグゼクティブ&リーダー達が世界60カ国以上から出席し、そのうち、日本からは過去最高の500人を超える参加者がありました。今年も、開催地フィラデルフィア市の半径5キロ以内の地域に全米の製薬会社の80パーセントが集積していることもあり、更に多くの参加者が見込まれているようです。

この度、本BIO2005に参加される方々を対象に、米フィラデルフィアのサイエンスセンターを拠点に日米間の技術移転活動を支援するジャパン・テクノロジー・グループ(JTG)、および、東京南青山とフィラデルフィアにオフィスを持つ大森矢口国際特許事務所では、地元の利を活かして日本から訪米される皆様をサポートすべく、「BIO2005 フィラデルフィア・ビジネス・ネットワーキング・プログラム」を開催する運びとなりました。

今回は、特に具体的な技術シーズやライセンス案件をお持ちの企業・大学、および、ベンチャー企業の方などを対象に、BIO2005開催期間中に米国を中心とした海外企業とビジネス・チャンスをお作りいただくことを主な目的とした7日間のプログラムとなっています。ご希望に応じて、部分的にご参加いただくことももちろん可能です。

ご多忙のこととは存じますが、まずは下記をご覧ください。参加ご希望の方は、添付の「バイオ・ビジネス・ネットワーキング・プログラム・参加申込書」に必要事項をご記入の上、当事務局宛にご返送ください。なお、本プログラムについてご質問がある方も、同事務局までお気軽にお問い合わせください。同事務局の電子メールアドレスや電話番号は本ご案内11ページ目に記載がございます。皆様からのお申し込みを心よりお待ちしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

II. 対象となる方

- バイオに関する具体的なシーズや案件があり、米国企業とのビジネスマッチングを希望される方(ライセンス、共同研究、合併売買 M & A 他)
- 米国での研究開発、臨床開発を考えている方
- 米国での販売、あるいは米国企業との提携を考えている方
- 米国での拠点設立を考えている方
- 海外企業とのネットワーク構築に興味のある方
- バイオ開催期間中、会場から安心して歩いて通える宿泊ホテルを探している方など

III. プログラムのメリット

- 米国企業とのビジネス展開に関する、知財の相談、具体的な商品販売の支援、日米間技術移転、契約締結、米国での拠点設立など、ビジネス展開に必要な支援が日本語で受けられる
- 米大手製薬企業等のトップレベルの人とのコンタクトが可能
- 具体的な技術シーズに対する米国企業の反応がわかる
- BIO2005 開催前に貴ニーズに基づいたニーズ・シーズのマッチングをサポートが受けられる(フィラデルフィア滞在中に海外企業や大学と効率的に話し合いが出来るよう、事前にその機会を設定するためのコミュニケーションをサポートします)
- ツアー終了後の相手企業とのコンタクトフォローもサポート(本主催、共催団体がご紹介した企業については責任を持ってフォローいたします)
- BIO会場(ペンシルベニア・コンベンション・センター)から徒歩5分以内の至近距離にあるホ

テルをご利用いただけます(オプション、希望者のみ)

- 現地の大手製薬会社や法律事務所が主催するプライベート懇親会に特別に参加できます(本来は招待された人以外は参加不可)
- 地元のバイオクラスター、インキュベーション施設、大学技術移転機関(TLO)、大学発ベンチャー企業など、フィラデルフィア地域における著名な施設を巡る視察ツアーにご参加いただけます(日本語ツアー)
- 合衆国誕生の地として知られるフィラデルフィアの市内観光ツアー、また、フィラデルフィアと深い関係にある偉大な日本人学者(津田梅子、野口英世、新渡戸稲造など)の足跡を辿る日本語によるツアーにもご参加いただけます(オプション、希望者のみ)

IV. 主催・共催団体一覧 (平成 17 年 4 月 21 日現在)

主催: Japan Technology Group, Inc. (Philadelphia, PA)
Omori & Yaguchi (Philadelphia, PA)

後援: ペンシルベニア州 地域振興・経済開発省日本代表事務所
Japan America Society of Greater Philadelphia
Japanese Association of Greater Philadelphia

協力団体: 大阪商工会議所／神戸市／北九州市／University City Science Center
(Philadelphia, PA)／BioAdvance (Philadelphia, PA)／Biotechnology
Greenhouse of Southeastern Pennsylvania (順不同)

V. プログラム日程表

	日付	発着都市	交通機関	時間	日程	宿泊 (希望者のみ)
1	6/17(金)	フィラデルフィア着		夕方	<p>PRE シーズ・ニーズ・マッチング ご希望に応じて BIO 開催前に参加企業や地元企業の間でシーズとニーズのマッチングを行います</p> <p>各自、ペンシルベニア州フィラデルフィア市へ集合</p> <p>P1 オリエンテーション&懇親会(立食形式) 本プログラムのツアーでのポイントと米国企業との提携、ライセンスの留意点などを説明します。また個別マッチング日時と場所の説明と確認も行います。 〈市内 Omori & Yaguchi 会議室にて〉</p>	Holiday Inn Midtown (注 1) または Loews Philadelphia Hotel (注 2)
2	6/18(土)	フィラデルフィア滞在		8:00	<p>P2 第 6 回日米ヘルスサイエンス・ダイアログ(ランチ付) 受付開始&朝食 〈Union League of Philadelphia にて〉</p>	同上
				8:30-17:00	開会の挨拶、続いて午前の基調演説開始、ランチ(スポンサー: Cephalon, Wyeth Research 他)、午後の基調演説・パネルディスカッションなど *米大手製薬会社トップの人とコンタクトが可能	
				17:00	カクテル・レセプション(ネットワーキング)	
				18:30	解散 〈Union League of Philadelphia にて〉	
				夕方	<p>P1' オリエンテーション&懇親会(立食形式) 本プログラムのツアーでのポイントと米国企業との提携、ライセンスの留意点などを説明します。また個別マッチング日時と場所の説明と確認も行います。 〈市内 Omori & Yaguchi 会議室にて〉</p>	
3	6/19(日) BIO 初日	フィラデルフィア滞在		7:00	<p>バイオ 2005 受付開始 B1 - International Program - Executive Workshops - Career Fair 〈Pennsylvania Convention Center〉</p>	同上
				12:00-13:30	<p>P3 ペンシルベニア州主催のインターナショナル・ランチ 12:00-13:30 ランチ</p>	
				13:30-16:30	13:30 より、ネットワーキングレセプション開始(デザート、コーヒー&紅茶付) 〈PA Convention Center〉	
				14:00	<p>A11 日野原重明聖路加国際病院理事長講演会・懇親会(於;フィラデルフィア日本語補習事業校)</p>	
				希望時間	<p>OP1 フィラデルフィア市内観光(オプションル、希望者のみ)</p>	

				19:00	BIO Welcome Reception 〈National Constitution Center にて〉	
				21:00	解散	
4	6/20(月) BIO 第2日目	フィラデルフィア滞在		6:30	バイオ 2005 受付開始	同上
				7:30	オープニング・ブレックファスト(朝食会)	
				9:30	開会式(テープカット)	
					B1 Business Forum, Partnering & Investors Forum, Exhibition, etc.	
				17:30	バイオ終了	
				17:30-	バイオ終了後 P4 フィラデルフィアの法律事務所 Synnestvedt & Lechner LLP による技術移転やビジネスに関する法律セミナー 〈Aramark Tower 26F, 1100 Market St.にて〉	
				18:30- 21:00	P5 フィラデルフィア最大規模の特許事務所 Woodcock Washburn のプライベート・カクテル・レセプションに参加(招待制) 〈Pennsylvania Academy of Fine Arts にて〉	
					P6 アストラゼネカや大手製業主催のプライベートネット・ワーキング・レセプション(招待制) 〈The College of Physicians of Philadelphia にて〉	
					P7 JETRO Japan Night (18:00 - 20:00) 〈The Loews Hotel Philadelphia にて〉	
5	6/21(火) BIO 第3日目	フィラデルフィア滞在		6:30	バイオ 2005 受付開始	同上
				7:30- 9:15	朝食会(全員参加)	
				8:00	B1 Business Forum, Partnering & Investors Forum, Exhibition, etc.	
				12:15- 12:50	昼食会(全員参加)	
				19:30- 21:30	BIO Gala Reception 〈フィラデルフィア美術館にて〉	
6	6/22(水) BIO 最終日	フィラデルフィア滞在		7:00	バイオ 2005 受付開始	同上
				7:30- 9:15	朝食会(全員参加)	
				8:00	B1 Business Forum, Partnering & Investors Forum, Exhibition, etc.	
				12:15- 12:50	昼食会(全員参加)	

				14:15-15:45	P8 バイオ特許セミナー *日米加欧4カ国の弁理士 & 特許弁護士が各国における特許性の違いについてパネルディスカッションを行う。日本からは、日米両国で弁理士の資格を有する矢口太郎がパネリストとして参加	
				18:30-21:30	BIO Closing Reception <Philadelphia Cruise Terminal at Pier 1>	
				又は		
				19:05 開始	OP2 アメリカ・メジャーリーグ野球観戦 ニューヨーク・メッツ対フィラデルフィア・フィリーズ(オプション、希望者のみ) <昨年4月にオープンしたばかりの新スタジアム「シチズンズ・バンク・パーク」にて>	
7	6/23(木)	フィラデルフィア滞在	専用バス	9:00 - 終日	P9 フィラデルフィアバイオ関連施設見学ツアー (サイエンスセンター、地元ベンチャー企業、大学技術移転機関などを訪問)	同上
				9:00- 終日	OP1 フィラデルフィア市内観光(オプション、希望者のみ)	
				18:30	P10 懇親会 & 慰労会 フィラデルフィアの人気レストランにて	
				21:00	解散	

(注1) Holiday Inn Express Midtown

所在地: 1305 Walnut Street, Philadelphia, PA 19107

Tel: 1-215-735-9300; URL: www.himidtown.com

- BIO 会場から徒歩5分以内
- 1泊\$120(+14% PA State & Local Taxes、朝食なし)
- チェックイン 15:00、チェックアウト 13:00
- 全室高速インターネットアクセス完備
- ホテル内セルフパーキング(1日18ドル)

(注2) Loews Philadelphia Hotel

所在地: 1200 Market Street, Philadelphia, PA 19107

Tel: 1-215-627-1200; URL: www.loewshotels.com

- BIO 会場から徒歩1分以内
- 1泊\$190(+14% PA State & Local Taxes、朝食なし)
- チェックイン 15:00、チェックアウト 12:00 正午
- 全室高速インターネットアクセス完備
- ホテル内セルフパーキング(1日30ドル)

アクティビティ一覧とその概要

セミナー・ワークショップ系

- PRE** BIO 開催前のシーズとニーズとのマッチング・サポート
- P1** BIO 直前説明会(オリエンテーション) & 懇親会(立食形式)への参加
- P2** 第6回日米 ヘルスサイエンス・ダイアローグ(同時通訳付)への参加
- P4** フィラデルフィア大手法律事務所によるライセンス・ビジネスセミナーへの参加
- A9** フィラデルフィアバイオ関連施設見学ツアーへの参加
- A8** BIO 主催「バイオ特許セミナー」への参加
*こちらはBIO主催のプログラムです。お申し込みはBIO参加申込と同時に各自行ってください。
- B1** BIO主催ビジネスフォーラム、パートナーリングフォーラムへの参加
*こちらはBIO主催のプログラムです。お申し込みはBIO参加申込と同時に各自行ってください。

ネットワーキング・レセプション系

- P3** ペンシルベニア州主催インターナショナル・ランチ・レセプションへの参加
- P3** ペンシルベニア州主催インターナショナル・ランチ・レセプションへの参加
- P5** フィラデルフィア最大規模の特許事務所、その他大手米法律事務所主催のカクテル・レセプションへの参加
- P6** アストラゼネカ、ジョンソン・エンド・ジョンソン等の大手製薬会社主催のプライベート・ネットワーキング・レセプションへの参加
- A7** JETRO 主催ジャパンナイトへの案内
*こちらはJETRO主催のプログラムです。
- A10** 当ネットワーキングプログラムの懇親会 & 慰労会への参加(6月23日)
- A11** 日野原重明博士講演会・現地の日本人との懇親会(6月19日)

レクリエーション系

- OP1** フィラデルフィア市内観光・ショッピングツアー
- OP2** アメリカ・メジャーリーグ野球観戦 ニューヨーク・メッツ対フィラデルフィア・フィリーズ

PRE BIO 開催前のシーズとニーズとのマッチング・サポート

例えばバイオに関する具体的なシーズや案件があり、米国企業とのビジネスマッチングを希望される方(ライセンス、共同研究、合併売買 M & A 他)を対象に、BIO開催前に海外の参加企業やフィラデルフィア地元企業のニーズとのマッチングを行います。まずはマッチング希望者から具体的な要望を提出していただき、その情報を元に弊社の地元の利を活かして海外企業およびフィラデルフィア周辺の地元企業にコンタクトし、双方の要望やスケジュールを調整の上、1対1のミーティングを設定します。必要に応じて通訳者も手配します。

P1 BIO 直前オリエンテーション&懇親会(立食形式)

昨年のBIO2004への参加体験記発表、今年のバイオの楽しみ方の説明、フィラデルフィア市の説明、BIOビジネスフォーラム活用方法の説明など、日本語資料を用いて行います。懇親会は Omori & Yaguchi 会議室にて立食形式にて行います

P2 第6回日米 ヘルスサイエンス・ダイアローグ(同時通訳付)

(日米両国のヘルスケア業界トップおよび学術研究者が集合し日米間のパートナーシップについて活発に意見交換を行う)

本プログラムの今年のテーマはパートナーリングおよびその戦略方法である。2000年に第1回が行われた本ダイアローグは、日米両国のヘルスケア業界関係者、および、学術研究者を招き活発な意見交換をすることで、両国に存在するヘルスケアの問題点、また可能性について意識を高めることを目的とし、毎年フィラデルフィアで開催されている。今回は、アジア進出に注目している米企業、および、北米やヨーロッパ進出を積極的に検討中の日本企業が、将来の事業拡大の際に検討すると思われるパートナーリングに焦点を絞る。パートナーを持つことの利点と、パートナーを持たずに独自で挑戦した成功事例とについて、2つの戦略にまつわる様々な課題を検討する。

- 主催:フィラデルフィア日米協会
- 主要スポンサー:アストラゼネカ、GSK、 Bristolマイヤース、モーガンルイス他
- 日米バイオ・製薬会社のトップを含め 150 人以上の参加者が見込まれている
- プログラム構成:基調演説(メルク社、マッキンゼー社、モーガン・ルイス・バックキアス法律事務所パートナー他)、製品開発に関わる諸問題を討論するパネルディスカッションなど。スピーカーリストは下記をご覧ください
- この会議はBIOとコラボレートして開催されます。参加費は500ドルですが、本「バイオ・ビジネス・ネットワーキング・プログラム」を通してお申し込みいただくと、特別に350ドルでご参加いただけます。

ヘルスサイエンス・ダイアローグ講演者一覧

(下記のプログラムは全て同時通訳付で提供されます)

8:00 受付・朝食
 8:30 - 17:00 プログラム(昼食を含む)
 17:00 - 18:30 カクテル・レセプション
 司会:ペッパー・ハミルトン法律事務所 弁護士 ニール・タナー

開会の挨拶

在ニューヨーク総領事館首席領事 ドレクセル大学総長	佐藤博史 コンスタンチン・パパダキス
------------------------------	-----------------------

午前の基調演説

メルク ヒューマンヘルス部門プレジデント	デービット・アンステイス
----------------------	--------------

パネルディスカッション:独自で始めた場合の現実は何であるか?

バリル CEO	スティーブン・バリル
マッキンゼー(東京) パートナー	マイケル・デブリン
サイトパスファインダー 社長&CEO	藤田芳司
モーガン・ルイス・バックキアス法律事務所 パートナー	スティーブン・マヒンカ

パネルディスカッション:製品開発に関わる問題

グラスコ・スミスクライン (東京) 開発・薬事部ディレクター	永田傳
クインタイルズ・トランズナショナル・ジャパン 副会長&代表ディレクター	大林幹彦
ブリistolマイヤース・スクイブ グローバル営業部門シニア VP	ディエター・ウィナード

午後の基調演説

バイオテクノロジー・インダストリー・オーガニゼーション(BIO)プレジデント ジェイムズ・グリーンウッド

パネルディスカッション:リクルート

コーン・フェリー・インターナショナル バイオテクノロジー&製薬部マネージングディレクター	スティーブン・イスラエル
イースト・ウエスト・コンサルティング(東京) 社長	室松信子

販売と営業

ペイン パートナー	デービット・ベレアー
大塚製薬 執行役員	岩本太郎

ケース・スタディ

ビーブリッジ・インターナショナル 会長&CEO	梶本博之
レクメド 代表取締役社長&CEO	松本正
そーせい 代表取締役社長&CEO	田村 真一

P3 ペンシルベニア州主催のインターナショナル・ランチ&ネットワーキングレセプションへの参加(招待制)

P4 フィラデルフィアの大手法律事務所「Synnestvedt & Lechner LLP」によるビジネス・法律に関するセミナーを行います

Synnestvedt & Lechner LLP と Omori & Yaguchi により、技術移転、日米間におけるライセンス、各種ビジネスに関するセミナーにご参加いただけます(日本語通訳付)。場所はBIO会場のペンシルバニアコンベンションセンターから徒歩2分のところにあるアラマークタワービル 26 階の Synnestvedt & Lechner LLP 会議室で行われます。

P5 フィラデルフィア最大規模の特許事務所「Woodcock Washburn」、その他大手米法律事務所のカクテル・レセプション(招待制)

招待制のイベントですが、当事務所を通して特別に参加することが可能です。同事務所の特許弁護士トップとのコンタクトが作れます。

P6 アストラゼネカ、ジョンソン・ジョンソン等の各製薬企業主催プライベート・ネットワーキング・レセプション(招待制)

招待制のイベントですが、当事務所を通して特別に参加することが可能です

A7 JETRO 主催ジャパンナイト

A8 BIO主催「バイオ特許セミナー」

BIOのプログラムです。米・欧・中・カナダの特許弁護士・弁理士が各国における特許性や特許取得実務の違いについてパネルディスカッションを行い、日本からは、Omori & Yaguchi のシニア・パートナー矢口太郎がパネリストとして参加します。世界各国における特許戦略を学ぶよい機会です。参加者には、セミナーで使われた資料に詳しい日本語解説を付けて後日お届けします。

A9 フィラデルフィアバイオ関連施設見学ツアー

地元のバイオクラスター、インキュベーション施設、サイエンス・センター、地元ベンチャー企業、大学発ベンチャー、大学技術移転機関(TLO)など、フィラデルフィア地域における著名な施設、企業を視察します(日本語ツアー)。郊外の企業へのツアーも計画しており、こちらに参加される場合にはバス代として50ドルがかかります。ツアーの詳細についてはお問い合わせください。

A10 当ネットワーキングプログラムの懇親会&慰労会への参加(6月23日)

TV番組「料理の鉄人」の「和の鉄人」として知られる森本正治氏のレストラン「MORIMOTO」がフィラデルフィアにオープンしました。2003年の開店以来、フィラデルフィア人気NO.1レストランとして好評を博しています。

A11 日野原重明・聖路加国際病院理事長の講演会・懇親会への参加(6月19日)

聖路加病院理事長で現役医師の日野原重明・聖路加国際病院理事長の講演会がフィラデルフィア日本語補習授業校で開かれます。フィラデルフィア現地の医療関係者も多数参加予定であり、講演会の後、現地の人との懇親会が開かれます。

B1 Business Forum, Partnering & Investors Forum

BIO主催のビジネスパートナーリングです。コンピュータシステムを利用したパートナーリングが効率的に行えます。関係者はBIOの目玉商品として、パートナーリング希望者はこれに参加しなければBIOにきた意味がないとまで言っています。このシステムの戦略的な活用方法については、弊社主催のプログラム参加者に配布されるパンフレットに詳しく記載しています。Business Forum, Partnering & Investors Forumに参加するには、BIO参加申込時に別途お申し込みいただく選択していただく必要があります

OP1 フィラデルフィア市内観光&ショッピングツアー

合衆国誕生の地として知られるフィラデルフィア市内観光ツアー、全米第2位の規模を誇る巨大ショッピングモールでのショッピングツアー、また、フィラデルフィアと深い関係にある偉大な日本人学者(津田梅子、野口英世、新渡戸稲造など)の足跡を辿る日本語によるツアーにもご参加いただけます。

OP2 アメリカ・メジャーリーグ野球観戦 (オプション、外野席\$40 前後)
ニューヨーク・メッツ 対 フィラデルフィア・フィリーズ



昨年4月にオープンしたばかりの新スタジアム「シチズンズ・バンク・パーク」にてメジャーリーグの試合を観戦します。フィリーズには現在日本人選手はいませんが、昨年メッツに移籍後、史上初のメジャー打席での開幕戦先頭打者初球アーチを放ち衝撃デビューを飾った元西部の松井稼頭央(和夫)や、平成14年にドジャースと正式契約することでメジャーデビュー

し今年メッツに移籍した元ヤクルトの石井一久の活躍を見ることが出来ます。メッツを応援すると地元フィリーズファンの冷たい視線が飛んでくるかもしれませんが・・・。なお、「フィリーズ」とはプロスポーツ史上最も長く続いている球団名で、由来はフィラデルフィア市民が「フィリー」と呼ばれるためです。チームロゴの「P」は米国独立の象徴の「自由の鐘」がモチーフです。

VI. 参加費用、オプション費用等について

JTG では、このプログラム参加者用に2つのホテルをブロックしています。

- **Loews Philadelphia Hotel** は、いわずと知れた高級ホテルで、BIO会場のペンシルバニアコンベンションセンターのエントランスと道を挟んだ反対側に向かい合って建てられています。1泊 190ドル(税サ別)です(徒歩1分)。
- **Holiday Inn Express Midtown** は、中級の使いやすいホテルで、BIO会場のペンシルバニアコンベンションセンターから3ブロックです。1泊120ドル(税サ別)です(徒歩5分以内)。

プログラム登録代金: 250ドル

料金体系は、基本登録料250ドルと、各種オプションプログラムの2本立てになっています。基本登録料には、BIO の活用の仕方等が詳しく書かれた日本語パンフレット、BIO ビジネスフォーラム&マッチング機能の効果的な使い方に関する日本語ガイド、バイオ直前説明会(オリエンテーション)、バイオ関連施設見学ツアー、フィラデルフィア観光案内(レストラン・ショッピング案内も含まれます)などが入っています。また、登録料にはプログラム **P1, P3, P4, P5, P6, P9, P10** のアレンジ代も含まれます。

オプションプログラムの参加代金

詳しくは本案内12~14ページをご覧ください。

注)フィラデルフィア市内で集合・解散ですので、日本からの航空運賃は参加者の負担になります

注)BIO2005 への参加費は、上記費用には含まれません。参加登録と、費用につきましては、下記URLでご確認ください。

<http://www.bio.org/events/2005/reg/>

VII. 参加申込・お問い合わせ先

参加ご希望の方は、本案内12~14ページの参加申込書に必要事項をご記入のうえ、BIO2005 ビジネス・マッチング・プログラム事務局(フィラデルフィア)までファクシミリにてご返送ください。各プログラムのコーディネートの都合上、お手数ですが5月25日(水)までにご返信いただきますよう、ご協力のほど、お願い申し上げます。

BIO2005 ビジネス・マッチング・プログラム事務局

ジャパン・テクノロジー・グループ(JTG)

フィラデルフィア本社内 担当: 山田 (Email: tyamada@japantechnologygroup.com)

または、篁(タカムラ) (Email: atakamura@japantechnologygroup.com)

Tel: 1-215-701-6349, Fax: 1-215-751-0192

* なお、お急ぎの方は下記までお電話にてお問い合わせください。

大森矢口国際特許事務所内 JTG東京事務局長/弁理士 山口康明
電話: 03-5412-0315